

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月6日

【評価実施概要】

事業所番号	3870600339		
法人名	社会福祉法人 光明会		
事業所名	グループホーム かわせみ		
所在地	西条市大町776-23 (電話) 0897-52-0390		
管理者	高橋 英子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年11月20日	評価確定日	平成21年1月6日

【情報提供票より】 (平成20年10月1日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成12年10月3日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	11人	常勤	9人, 非常勤 2人, 常勤換算 8.7人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	30,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,100円		
(3)利用者の概要 (平成20年10月1日現在)			
利用者人数	9名	男性 2名	女性 7名
要介護1	0名	要介護2	4名
要介護3	5名	要介護4	0名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 85.5歳	最低 72歳	最高 97歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>調査訪問時、「腰が痛い」と困っている利用者、他の利用者の方から「腰を左右に動かす体操がいいよ」と助言していただき、職員も利用者とともに体操をされている様子が見えた。</p> <p>浴室が広いので、周囲に手すりを設置されている。壁面には、昔の浴場を思わせる富士山の絵が貼られていた。職員と一緒に大きな声で歌を歌う方もおられる。</p> <p>調査訪問時、食後に、ご自分の食器を洗い、片付けをされている方もおられた。テレビ時代劇を楽しみにされていた。おしゃべりすることが楽しい時間となっている。お誕生日には、ご本人の好きなお食事を用意され、皆の前で挨拶をしていただき、ローソクを消し、皆でお祝いをされている。</p>

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> この一年間「利用者の思いの把握」に、特に力を入れて取り組まれた。
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己評価は、職員個々が、日々のケアを振り返り「基本を確認する機会」と捉え取り組まれた。
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> 会議時、ご家族から「事業所での食事の献立について知りたい」と質問をいただき、1週間分の献立をカラー写真で報告された。今年初めて開催した事業所の運動会についても、アイデアをいただいた。
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ご家族から「職員の名前が覚えられない」というご意見を受けて、職員全員に名札を付けるようにされた。又、利用者が重度化した時の不安を持たれているご家族が多くおり、話し合いを重ねていくことの重要性を感じておられた。
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方祭に出かけ、だんじり見学を楽しまれた。地域のボランティアの方達が、大正琴を披露して下さったり、管理者は、近隣の方々に認知症についての講演をされた。地域の方々に事業所のことをさらに知っていただくため、自治会の回覧板に事業所便りを入れてもらうようになった。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム かわせみ

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名 高橋 英子

評価完了日

平成 20年 11月 1日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			その人らしさを大切にその人らしく生活できる支援を職員が具体的に日々話し合いサービスを提供しています。「地域の中でその人らしい暮らしの継続を支援する」		
			(外部評価)		
			事業所では、利用者個々が、地域の中で暮らし続けることを支援することを理念に掲げておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			日々の申し送りや利用者との関わり 理念に基づきケアを提供しています。その人らしさを大切にその人らしい暮らしの継続を支援しています。		
			(外部評価)		
			朝の申し送り時等、管理者と職員は、事業所の「理念を念頭において行動する」ことを確認し合っておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			理念を掲示し、利用者や家族には折りに触れ伝えていきます。地域の方には、かわせみ通信や集まりの際、グループホームの実践を伝えていきます。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩等で出かけた際、挨拶や会話で顔見知りとなり、花などの話題から立ち寄ってもらえるよう努めています。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 老人会行事に委員として参加することで、地域の人との交流が広がりました。顔見知りが増えました。運営推進会議が地域の人達の情報収集の場ともなっています。認知症予防教室を開催し、少しでも理解してもらえるよう努めています。		認知症の理解を一層深めていきたい。
			(外部評価) 地方祭に出かけ、だんじり見学を楽しまれた。地域のボランティアの方達が太正琴を披露して下さったり、管理者は、近隣の方々に認知症についての講演をされた。地域の方々に事業所のことをさらに知っていただくため、自治会の回覧板に事業所便りを入れてもらうようになった。		さらに、地域との関係を深めていくために、認知症についての講演への参加を働きかけたり、ボランティアの受け入れ等も積極的にすすめていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 事業所の会議室を地域のサークル活動に利用してもらったり、介護相談等受けています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価を全職員で行い、サービスの質の向上へとつないでいます。外部評価結果は職員全体で考え、また運営推進会議でもテーマとし、改善に向けて取り組んでいます。		
			(外部評価) 自己評価は、職員個々が、日々のケアを振り返り「基本を確認する機会」と捉え取組まれた。この一年間「利用者の思いの把握」に、特に力を入れて取組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議で話し合った内容、意見などを職員に報告し、改善したり参考にしたりサービス向上につなげています。		
			(外部評価)		
			会議時、ご家族から「事業所での食事の献立について知りたい」と質問をいただき、1週間分の献立をカラー写真で報告された。今年初めて開催した事業所の運動会についても、アイデアをいただいた。		運営推進会議開催について、出席者や開催場所、開催時間等について、さらに工夫を重ね、いろいろな方からのご意見をサービスの向上につなげていかれてほしい。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			介護支援専門員連絡会・介護相談員連絡会に出席し、市担当者や他事業所、介護相談員との話し合いを持つことが出来ています。連絡・書類提出等、利用者と共に市へ伺い、話しする機会を増やしています。		
			(外部評価)		
			運営推進会議を重ね、市の担当者とも顔見知りとなり、パソコン操作を教えてもらうこともある。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			地域福祉権利擁護事業を活用されていた方が以前あり、今後も制度の理解と活用を推進していきます。難しい内容なので研修にも出席しています。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			かわせみ内勉強会で話し合い、食事の際の声かけでも、食べたくない人に強制するような発言が虐待になること伝えていきます。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に文章を見てもらいながら説明しています。利用料・権利等、詳しく説明し同意を得るようにしています。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員が1回/月 訪問され、利用者の相談にのってもらっています。利用者の言動から思いを察するよう努め、その人らしくと心がけています。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月連絡表を作成し、現在の様子や預り金の残金等、写真入で報告しています。来訪時、写真で様子見てもらいつつ報告したりビデオを観てもらったりしています。		
			(外部評価) 毎月ご家族にお送りする「連絡表」では、ご本人の日中・夜間の様子や食事、入浴、活動、コミュニケーション、体調、お小遣い等、項目ごとに詳細に報告されている。又、「かわせみ通信」で、地域・事業所の行事の様子等を写真入で知らせておられる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会の時、職員が席をはずし家族同士で話し合ってもらう時間をつくり、代表者から話し合った内容等伝えてもらうようにしています。日頃より何でも話しやすい雰囲気づくりに努めています。		
			(外部評価) ご家族から「職員の名前が覚えられない」というご意見を受けて、職員全員に名札を付けるようにされた。又、利用者が重度化した時の不安を持たれているご家族が多くおり、話し合いを重ねていくことの重要性を感じておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営委員会（運営者・施設長・管理者・他併設施設の代表者）が月1回あり、その内容を職員に報告し意見を聞いています。職員から出た意見を起案書で提出しています。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 入居・受診・急変時・外出・研修等、必要に応じて職員数を増やすよう勤務調整しています。また、利用者の体調や認知症状の変化に応じ、勤務体制の工夫を行っています。（夜勤2体制）		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 運営者が馴染みの関係の大切さを考え、職員の異動がなく、離職もなく、馴染みの職員が支援出来るよう努めています。		
			(外部評価) 開設時からの職員がほとんどであり、利用者とは、馴染みの関係が作られている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 年度初めに研修計画を立て、スムーズに研修を受けられるようにしています。研修に参加した職員が、かわせみ内勉強会で研修内容を報告しています。		
			(外部評価) 年度初めに外部研修への参加計画が立てられており、職員が計画的に研修を受けることができる体制が整っている。又、外部研修時の内容は、内部研修時に報告し、全職員に周知されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	<p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	(自己評価)		
			<p>グループホーム協議会開催の研修に参加することで、他事業所の職員と交流する機会となっています。管理者交流会では意見交換し、サービスの向上につながっています。</p>		
			(外部評価)		
			<p>外部研修時、同業者と情報交換等をされたり、相互研修では地域の他グループホームを訪ねられた。</p>		<p>管理者は、同業者とのネットワークを広げて、他事業所と積極的に交流を深めていきたいと話しておられた。</p>
21		<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>職員の体調や様子に気を配り、話しを聞いています。旅行などだけでなく、話しする場を設ける等、職員によってストレスと感ずることが違う為、対応考えています。</p>		
22		<p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>職員が個別に話しする機会を設けています。5年後の自分を考え、向上心を持って働けるよう話し合いをもっています。(資格取得など)</p>		
<p>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>					
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		<p>初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	(自己評価)		
			<p>相談があった際、本人の心身の状態や生活状況を把握するよう努めています。本人の考えや思いを受け止め、少しでも不安解消できるよう努めています。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 現在までの介護の苦労話やサービスの利用状況、困っていること、不安なこと、傾聴するよう努めています。話しを聞くことで、気分が少し楽になる方が多く、その後、今後について話し合っています。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時、本人と家族が求めていること、不安なこと把握し、利用までに他のサービスを紹介したり支援センターやケアマネに連絡することがあります。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人と家族にグループホームを見学してもらい、生活の様子や雰囲気を感してもらおうようにしています。入居直後の不安には、家族に協力してもらい、安心してもらえるよう努めています。 (外部評価) 入居前には、ご家族からご本人のことを聞き取り、思いに添えるよう努力をされている。入居間もない間は、職員がご本人に寄り添うよう心掛けておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 本人の思いを知るよう努め、寄り添い、生活の中での楽しさ、喜びや不安などを共に分かち合える様、関係作りに努めています。・男性利用者が重い物を持ってくれます。・調理方法、上手な方が教えてくれます。・職員が帰る時、「気をつけてね。また明日」と優しい言葉があります。 (外部評価) 調査訪問時、「腰が痛い」と困っている利用者、他の利用者の方から「腰を左右に動かす体操がいいよ」と助言していただき、職員も利用者とともに体操をされている様子がうかがえた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の様子を伝える際、職員の考えも伝え、家族がどう考え感じているかを話してもらい、一緒にその人らしく生活できる支援しています。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人と家族の思い考えを理解し、外出で家族と一緒に時間を過ごしてもらったり、行事に家族を誘ったりして良い関係が継続できるよう支援しています。運動会、お祭り見物等、行事に家族を誘って食事を一緒に食べたりしています。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人と家族から情報収集し、大切な人・場所を知り、ケアプランに取り込み支援しています。毎月の命日に墓参りをしている方がおり、暮らしの継続を支援しています。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 気の合う利用者同士で過ごせる様、入浴時間を考慮したりしています。 利用者によっては、すすんで会話に加わらない人がいるので、職員と一緒に会話に入り、お茶したりしています。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 利用終了後も、家族の方が「協力できることがあったら」と運営推進会議に出席してくれています。長期入院となられた方に利用者と一緒に見舞いに伺ったりしています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人にとってどのように生活することが本人らしく最良なのかを考え、家族と一緒に検討しています。常に自宅や家族を気にしている人に家族の協力を得て、外出や電話を支援しています。		希望・意向を言動から推し測ったりしていますが、本人本位と職員が思っているだけでは・・・と感じることがあり、本人の視点に立ち検討したい。
			(外部評価) 職員は、利用者と一緒に生活する中で、直接思いを聞き取られたり、態度や表情等から感じ取ったりされている。		事業所では、さらに「ご本人の視点に立ち」ケアを実践するために、今後、利用者やゆったりとかかわることができるような時間作りに、取組みたいと話しておられた。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族に本人のこれまでの暮らしに関する情報収集の大切さを伝え、細やかに情報収集しています。利用後も本人の話や家族、知人等の訪問時など少しずつ把握に努め記録に残しています。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) その人ごとの1日の過ごし方を理解し、言動から考えを感じ取り本人の全体の把握に努めています。午前中体調不良を訴えるが、午前11時頃にはだいたい良くなる方、午前～15時頃の時間帯には出来ることが夕方には出来ない方など。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 利用者が自分らしく過ごせる様、本人や家族の話しを聞き医師や他関係者の意見を含めて全職員で話し、介護計画を作成しています。		
			(外部評価) 利用者の日々の生活の中での希望や、ご家族・リハビリスタッフの意見等もうかがいながら、すべての職員で話し合い、介護計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
				利用者の状態変化や状況に応じて見直ししています。 細やかな事は日々の記録に記入しています。	
			(外部評価)		
				介護計画は、6ヶ月ごとに見直すようになっている。 又、状態変化時は、その都度見直しをするようになっている。	
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
				日々の暮らしの様子・健康状態・本人の発言・ケアの内容・気づき等、具体的に記録しています。	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
				医療連携体制を活かし骨折手術後1週間で早期退院されりハビリ5回/週、通院援助しています。 毎日、通院し点滴を受けグループホームでの生活を継続しています。	
			(外部評価)		
				ご家族の都合に応じて、職員が、皮膚科や耳鼻科への受診時、同行されている。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域のボランティアと馴染みの関係づくりが出来、来訪を楽しみにされています。行事ごとにも声かけし、参加して頂いています。会話やスキンシップなど、大変喜んで頂いています。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 利用者の希望に応じて、理美容サービスを利用しています。		ボランティアの見守り支援のサービス利用できるよう相談中です。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加するようになり、関係づくりが出来ています。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関の他、利用前からのかかりつけ医での医療が受けられるよう家族と協力しています。受診時の内容を家族・職員が共有できる工夫もしています。 (外部評価) 病院受診時に、空いている時間を教えてくれる等、配慮いただいている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医療機関の医師が定期的に訪問し、利用者の症状を細かく情報提供し、指示を受けています。訪問外にも症状について相談しアドバイスを受けています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 協力医療機関の看護師が利用者の普段の状態をグループホームに来て見知っており、健康管理や医療面での相談助言に気軽に応じてもらえます。緊急時の医療機関との連携もうまくとれています。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院によるダメージを防ぐ為、本人の情報を提供し病院関係者と話す機会をもち、早期退院できるよう努めています。骨折手術後1週間で退院した方があります。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人・家族に早期より意向を確認し、対応方針を定めています。状態の変化があった際、気持ちの変化がないか注意し支援しています。 癌末期の方、治療をしない方針でグループホームで過ごされましたが、家族が医療を受けないことが不安となり入院されたケースがありました。 (外部評価) 事業所では、看取りの方針を定め、すべての職員で共有されている。ご本人・ご家族の希望、又、医師の同意や協力のもとであれば、事業所で看取り支援を行うことも可能であると伝えておられる。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) グループホームでの生活を1日でも長く心地良く過ごしてもらう為、医療機関とも密に連携をとりチームで支援しています。また家族の方とも協力・相談し、グループホームで出来ることを努めています。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 新たな住まいでも本人の今までの暮らしが損なわれないよう、支援内容や注意点など情報提供しています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 利用者一人ひとりの尊重を守るよう、目立たずさり気ない言葉かけをする等、職員が関わり方を考えて接しています。全体の雰囲気を見つつ、声の大きさやトーンにも気をつけています。周りの人に気づかせないように配慮したトイレの誘い方の工夫をしています。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>			<p>(自己評価) 外出の希望や衣類の選択等、利用者がどうしたいかを表現してもらうよう働きかけ、納得したり決めたりして暮らせるよう支援しています。食べたいメニュー等、食事の献立を一緒に考えています。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 起床、着床時間・食事時間や献立・お昼寝タイム・家族への電話・外出、買い物等、利用者本位に一人ひとり、その人らしく暮らせるように支援しています。</p>		<p>利用者のその日の望みを知り、支援するようにしていますが、更に配慮したい。</p>
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>調査訪問時、昼食に気がすすまない利用者に職員は、少し時間を置いてからすすめておられた。食後は、自室で休まれる方・おしゃべりを楽しまれる方・ゲームを楽しむ方等がうかがえた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) その人ごとの習慣に合わせ、化粧や髪の設定や身だしなみを楽しんでもらえるよう支援しています。自宅へ帰られた時、妻が散髪する事を楽しみにしている利用者がいます。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 献立を一緒に考え、調理・盛り付け・片付けを利用者と共に行い、同じテーブルで利用者と職員が楽しく食事できるようにしています。家族も一緒に食べてもらう機会も作っています。 (外部評価) 調査訪問時、かぼちゃの面取り・ごぼうの笹がき等、職員とともに昼食の準備をされていた。食事中は静かにBGMが流れ、会話や笑い声が聞こえてきた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 利用者個々の嗜好を知り、本人の様子やタイミングをみて、牛乳・ポカリ・お茶・果物・お菓子を楽しんでもらえるよう支援しています。夜間、甘いもの欲しくなる方、ポカリを好みリクエストされる方がいます。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) その人ごとの排泄リズムを把握し、トイレ誘導しています。服の裾をゴソゴソ触る・座っているのに腰を何度も上げる等々、トイレサインを見逃さずさり気なく支援しています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 夕食後に入浴する方がほとんどですが、傷があり外科受診する必要のある人は受診前に入ってもらったり、外出時自宅のお風呂や温泉に入り楽しめる方もあります。 仲の良い方と一緒に入浴したい人には一緒に入れるよう支援しています。		
			(外部評価)		
			浴室が広いので、周囲に手すりを設置されている。壁面には、昔の浴場を思わせる富士山の絵が貼られていた。職員と一緒に大きな声で歌を歌う方もおられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 早くから休息される方は早めの就寝準備を支援しています。ホールで温かい飲物やお茶とお菓子を食べながら利用者同士、またはスタッフも混ざり、コミュニケーションを図り気分を落ち着けてゆっくりと休めるよう支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) その人ごとできる事やしたい事を知り、できることはお膳立てもしつつ本人の意欲が出るように、また役割と覚えてもらえる支援をしています。食事づくり、庭木の剪定、畑仕事等。 今年秋の運動会を計画し、旗作りや花飾り等、準備から利用者と一緒に行ないました。家族の協力も得られ楽しい1日となりました。		
			(外部評価)		
			調査訪問時、食後に、ご自分の食器を洗い、片付けをされている方もおられた。テレビ時代劇を楽しみにされていた。おしゃべりすることが楽しい時間となっている。お誕生日には、ご本人の好きなお食事を用意され、皆の前で挨拶をしていただき、ローソクを消し、皆でお祝いをされている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自分で管理されている方が2人おられます。お預りしている方は買い物の際、本人が財布から支払いが出来る様支援しています。初詣のお賽銭など。また、散歩時、駅のパン屋さんでパン購入後の帰りに財布を落としたことがありました。でもちゃんと無事に見つかりました。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天候や利用者の希望に応じて、おやつやお弁当を持って出かけています。ほとんど毎日、駅へ散歩に行く方もあります。		
			(外部評価)		
			母体病院の託児所子どもたちに会いに行かれたり、近くの公園に出かけることもある。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			本人にとっての懐かしい場所、近くであればその日に行なっています。遠くの場合は、計画を立て家族に相談し支援しています。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			毎週、息子さんから電話があり、普段見せない笑顔が見れる方が居ます。ご家族からの電話はいつでもつながるように対応しています。お話しされている様子、どのような様子で喜ばれているか後日、写真でお伝えし継続されるよう努めています。子供さんやお孫さんよりプレゼントや手紙等が届いたら電話で本人からお礼してもらおうよう勤めています。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族の方、知人・友人の人達が気軽に訪問してもらえるよう挨拶・お茶・雰囲気等、気をつけています。気兼ねなく、のんびりと話しができる場所で過ごしてもらえるよう小さなスペースですが、自室以外でも過ごせるスペースも設けています。ソファや前庭のベンチを開放しています。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的 な行為」を正しく理解しており、身体拘束 をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束について学んでいますが、日々 のケアの内容で自覚しない身体拘束が行な われていないか話し合っています。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵を掛けず、職員が利用者のそ の日の状態を、その人ごとの外出の傾 向を把握し見守りを行なっています。 (外部評価) 調査訪問時、気ままに出かける方に、 職員はそつと後を追って出かけられた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しなが ら、昼夜通して利用者の所在や様子を 把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員は利用者全員の状況を把握するよ う努めています。夜間は起きたらすぐ 対応出来るよう、又、1時間ごとの巡 回をしています。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすの ではなく、一人ひとりの状態に応じて、 危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 包丁使用中に見守り注意しています。使 用後、保管管理しています。ポット使 用出来る方がおり、自由に使ってもら っていますが、見守りしています。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等 を防ぐための知識を学び、一人ひとり の状態に応じた事故防止に取り組んで いる	(自己評価) その人ごと予測できる危険を防ぐよう にしています。誤嚥しやすい方、姿勢 直してもらったり、とろみをつけたり しています。何かあった際、事故報告 書作成し今後同じことのないよう対 策について検討しています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 急変や事故発生時に慌てず対応出来るようグループホーム研修や病院の研修で学習し、施設内でも職員全体で学習し、実際に対応出来るようにしています。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 総合避難訓練を2回/年、法人施設と合同で行なっています。職員ひとりで利用者が避難出来る方法(シーツや布団に包んで引っ張り出すなど)を実際に行なっています。地域の協力体制は自治会にお願いし、避難誘導場所も伝えています。 (外部評価) 法人施設と合同で「総合避難訓練」を行い、その後で、事業所単独で昼間・夜間を想定した避難訓練を実施されている。いざの時は、隣接の法人施設や地域自治会の協力が得られるようになっている。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) その人ごと起こり得るリスクについて把握しており、家族に説明し対応について話し合っています。外出や作業の大切さについても、事業所の考えを説明し理解を得るよう努めています。また、日々の報告と信頼関係づくりに努めています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝V Sチェックを行い、利用者一人ひとりの普段の状態を知ることで体調の変化、早期発見につながっています。又、普段と違う言動があった時には体調の変化に繋がる事が多く、記録に残し必要に応じて受診援助に繋いでいます。又、情報を職員間で共有してま		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者が使用している薬は薬剤師の協力のもと、薬の目的や副作用・用法や用量について一覧できるようにしています。きちんと服用できるよう手渡し、見守り等行っています。また、新たに服用する際や、臨時薬等、症状の変化に注意しています。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排泄状態を把握しその人に応じた、水分補給・食事(食材や献立)・運動に注意し、自然排便を促すよう取り組んでいます。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 協力医療機関の歯科より口腔ケアの指導を受け、職員が口腔ケアの必要性を理解し支援しています。就寝前には義歯を使用している方はお預かりし洗浄しています。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 協力医療機関の栄養士に高齢者の食事・栄養バランス・糖尿食等、指導受けています。食事が進まず栄養が摂れない方には、医師とも相談し、補助食品を使っています。また、その人ごとの食事量とし、嗜好や食べやすい工夫をしています。水分摂取についても、ポカリ・お茶・好みのもの等、習慣に対応しています。 (外部評価) 母体病院の栄養士から栄養バランスや摂取カロリー等、アドバイスをいただいている。水分は、お風呂上りや寝る前等、一日を通して少しずつ取っていただくよう、声かけされている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症予防マニュアルがあり、全職員で学習して予防対策に努めています。インフルエンザ予防接種を利用者・職員が受けています。ノロウイルス対策としてハイター消毒やペーパータオルの使用など行なっています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>手洗いの徹底。ふきんやまな板の洗浄、消毒を毎日行い生鮮食品（魚・肉など）は調理する直前に冷蔵庫から出して調理するようにしています。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関前には利用者と一緒に花を植えたり水遣りも手伝って頂き、お花作りに励んでいます。きれいにお花を咲かしていると通りかかっている人からお声をかけて頂き、会話も弾みます。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関の下駄箱は個人のイメージに合わせ布を飾ってみました。玄関・食堂・テーブル・カレンダーなど、季節季節で飾り替えをし、季節感を出してみました。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関や外の景色が見える窓辺には、小さな椅子が置かれている。</p>		<p>ハード面をカバーできる居心地の良い空間作りをいろいろな方にも意見を出してもらい工夫していきます。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>お友達同士の方はホールでの席も隣同士にし、その存在だけで安心したり、会話を楽しんだり助け合ったりしています。廊下の端にソファとテーブルを置き、ひとりで過ごしたり仲の良い人と寛げるスペースを作っています。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			使い慣れた本人にとって馴染みのある大切な物を傍に置いて安心できる環境づくりに努めています。家族からのプレゼントに家族との写真が飾られていたり、お位牌や鏡台があります。		馴染みの物を活かして、その人らしく過ごし、寛げる部屋にしていきたい。
			(外部評価)		
			使い慣れた鏡台を持ち込まれている方や、ご家族の位牌に毎日、手を合わせておられる方、又、ベッドか畳に布団を敷かれる方等、事業所では、個々のこれまでの生活を大切に続けていけるような居室環境に配慮されている。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			各部屋に換気扇があり適宜、窓を開け空気の入替えを行なっています。冷暖房の温度調節をその人に合わせて行い、風の流れを把握し配慮しています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			立位保持が不安定となっている利用者には手洗いに手すりが多くあるトイレの利用を勧め安全に手洗い出来るようにしています。洗濯干しの際、その人達に合わせて竿の高さ調節をしたりハンガーを使用したり、屋内でも干しやすい工夫をしています。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			カーテンの開け閉めで昼夜の混乱を防いだり、さり気なく声かけしています。玄関の下駄箱には一人ひとりのイメージに合わせ布を飾ってみました。カレンダーに×印をつけ、今日が何日であるか日めくりと合わせてわかりやすくしています。ドアの引き手に名前シール貼ったり花飾り等、目印をしたり居室をわかりやすくしています。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			前庭にテーブルセットを設置し、お茶を飲んだりおやつを摂ったり、ゆっくり寛げる場所となっています。裏庭には縁台があり、作業後ひと休みや日向ぼっこが出来る場所となっています。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② ほぼ全ての利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	生活していく上で思いや気持ちに変化があったり、こちらがそうであろうと考える事が本人と必ずしも同じではないと思うことがあります。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食後や就寝前にゆっくりとした時間がもてています。午後、職員と一緒にゲームを楽しんだりできる時間があります。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② ほぼ全ての利用者が2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者本位と対応しているが全てにタイムリーと出来ないこともあります。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② ほぼ全ての利用者が2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家族でない職員だから見せられる姿もあるのかも...と思います。安心できる身近な存在と感じてもらいたいと思っています。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② ほぼ全ての利用者が2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	行きたい所をこちらより聞き出す努力が必要と思っています。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	協力医療機関があり、利用者も家族も職員も安心できています。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ② ほぼ全ての利用者が2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家族の協力があり、安心して暮らしてもらえます。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ② ほぼ全ての家族と2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	より良い関係作りに努めています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	ほぼ毎日誰かの訪問があります。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) ①大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	自治会の老人会に参加させてもらい、理解者が増えたと感じています。
98 職員は、生き生きと働けている	(自己評価) ①ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員が笑顔で働いており、利用者と一緒に喜怒哀楽を感じ、仕事が楽しく、やりがいを感じていると思います。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ②利用者の2/3くらいが 1 ほぼ全ての利用者が 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の表情が豊かでその人らしさを感じています。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ②家族等の2/3くらいが 1 ほぼ全ての家族等が 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	来訪した際、家族の表情が明るく笑顔が見られ、職員へも進んで話しして下さるので...そうではないかと感じております。毎月の連絡表を楽しみにして下さる家族が多く、活用してくれています。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・協力医療機関との連携は利用者・家族、又職員にとっても安心できる点だと思っています。
・各職員が明るく個性的です。柔軟な対応のもと個々の利用者の持つ個性や人柄・持ち味をその時々に取り出せるよう努めています。